科目ナンバリング	U-LAS30 10001 SJ11						
授業科目名 <英訳>	情報基礎演習［全学向］ Practice of Basic Informatics (General)			担当者所属 職名・氏名	国際高等教育院 准教授　酒井　博之 国際高等教育院 教授　　田島　敬史		
群	情報学科目群	分野(分類)	(基礎)			使用言語	日本語
旧群	B群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・後期	曜時限	木2	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

初心者を対象として、コンピュータを活用するための基礎的な知識と技能を修得する。コンピュータの基本的な操作法、レポート文書やプレゼンテーション資料の作成法、セキュリティと倫理、情報検索の方法、さらにコンピュータを自在に操るために必要となるプログラミングの基礎までを学ぶ。

[到達目標]

・パーソナルコンピュータのOSとネットワークの利用の基礎的な操作と安全な利用のスキルを得る。

・大学図書館が提供している情報とその利用法を知る。
・学術的な文章をワードプロセッサで作成するために必要な概念と操作技能を得る。
・表計算ソフトを用いてデータ処理を行う基礎的技能を得る。
・プレゼンテーションソフトを用いて学術的プレゼンテーションを行う基礎的技能を得る。
・コンピュータがプログラムによって動くことについて、実際のプログラミングを通じて体験的に知る。

[授業計画と内容]

おおよそ以下の内容について学習する予定である。初回はガイダンスも行う。

コンピュータの基礎とネットワークの利用（3週）
・OS (オペレーティングシステム) の基本
・情報セキュリティと情報倫理
情報の探索（1週）
・学術情報の流れと併せ、図書館が提供する情報源を中心に、情報探索法の基本を概説する（協力：附属図書館研究開発室教員，附属図書館・吉田南総合図書館職員）
コンピュータでのコンテンツ作成（6週）
・文書の整形と構造化 (Word)
・データ分析の基礎 (Excel)
・プレゼンテーション資料作成の基礎 (PowerPoint)
プログラミングの基礎（4週）
・プログラミングの概要
・変数によるモデル化
・制御構造
フィードバック（1週）

注：高等学校の新学習指導要領を踏まえ、授業で扱うトピックの検討をおこなっている。このため、上記内容の一部を変更する場合がある。

情報基礎演習［全学向］(2)へ続く↓↓↓

情報基礎演習［全学向］(2)

[履修要件]

所属学部のクラス指定の「情報基礎演習」が開講されている場合は、［全学向］の「情報基礎演習」を履修しても卒業要件を満たす科目として認められないことがあるので、各自で所属学部に必ず確認すること。

[成績評価の方法・観点]

トピックごとに提出を求める課題・レポートで評価する。レポートは授業で学習したポイントを踏まえているかどうか、記述が明解かどうかなどによって評価する。課された課題・レポートについて、評点を合計したものを成績とする。

[教科書]

喜多、北村、日置、酒井 『情報基礎演習 2024』（出版はされていません。オンライン版を授業で提供します。）
授業支援システム PandA で資料の配付をおこなう。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

授業時間外の学習として、トピックごとに提出を求めている課題・レポートについて取り組むことを求める。

[その他（オフィスアワー等）]

・授業内での演習のため、受講者は各自の PC を教室に持参すること。
・教室定員を超えた場合、無作為抽選を行う場合がある。
・質問は随時メールで受け付ける。
・先行的な内容を実施するため授業内容の一部を変更することがある。

情報環境機構が提供する情報セキュリティe-Learningを必ず受講し、修了テストを受けた上で、同テストのフィードバックを確認しておくこと。授業内では受講のための時間は設けないので授業時間外に受講しておくこと。同e-Learningは学生も含めた本学の全構成員に対して毎年受講が求められているものである。2回生以上で過去の年度に受講した場合でも今年度まだ受講していないのであれば必ず受講すること。

[主要授業科目（学部・学科名）]